

# 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2022/06/27号

マーケットエッジ株式会社 小菅努



## 【現状確認】



## 需要不安で急落地合に、一時100ドルに迫る

NY原油先物相場は、1バレル=107ドル台まで急落する展開になった。各国がインフレ対策で強力な利上げに踏み切る中、実体経済が耐えられずにリセッション（景気後退）に向かうとの懸念が強くなっている。需要環境の悪化リスクからコモディティ相場全体が大きく下押しされているが、原油相場も6月22日安値は101.53ドルに達し、5月11日以来の安値を更新している。

6月22日と23日にパウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長の議会証言が行われているが、インフレ抑制に「無条件」でコミットする方針を確認している。リセッションを回避した状態でインフレ抑制を実現することが難しくなっていることを認めるも、あくまでもインフレ抑制を最優先する考えを示している。米国以外でも各国が利上げ対応に踏み切っているが、急激な利上げによってインフレ抑制より前に実体経済が大きく崩れ始めるリスクが警戒されている。需要不安から鉄鉱石や非鉄金属相場なども急落しているが、原油相場も大きく下押しされる展開になっている。

米エネルギー情報局（EIA）の米石油在庫（6月17日時点）は、システムトラブルの影響で発表されず。

## 原油ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

## 【展望】

## 需要不安と供給不安の綱引き続く、値ごろ買いの有無に注目

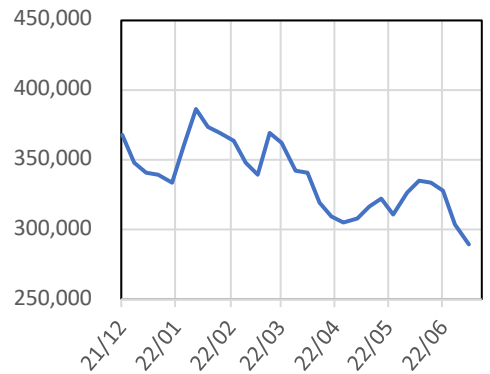
需要不安が急激に高まる中、前週に続いて下値不安を抱えた地合になる。特に米金融当局者からタカ派の発言が聞かれる、経済指標の下振れ傾向が目立つといった動きがみられると、改めて100ドルの節目割れを試す可能性がある。「供給不安」と「需要不安」を同時に抱えているため不安定な地合が続き易いが、急伸地合一服でコアレンジは切り下がる。

ただ、原油相場が大きく下落すると、インフレ期待の後退から積極的な利上げの必要性も後退することになる。このため、6月24日の米国株が急伸するなど、リスク投資の地合に改善の兆候も見られる。リセッションの脅威を原油相場が織り込むことが、インフレ期待の低下を通じてリセッションの脅威を低下させる可能性にも注意したい。

6月29日に石油輸出国機構（OPEC）総会、30日にOPECプラス閣僚級会合が予定されている。OPECプラスは7月の増産幅を日量64.8万バレルと、6月の43.2万バレルから引き上げているが、8月も7月と同じ増産ペースが維持される見通し。7月はバイデン米大統領の中東訪問が予定されているが、事前に特別な対応は行われないとみられている。

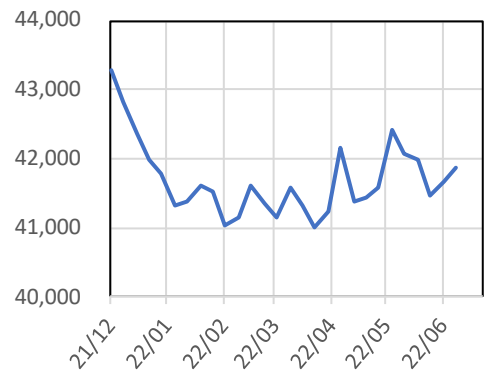
一方、現時点ではリセッションは「リスク」に留まっており、足元の需要環境は決して悪くない。中国の経済活動は正常化しつつあり、北半球ではドライブシーズンの需要期が始まっている。「脱ロシア」に象徴される供給制約の強さにも何ら変化は生じておらず、需給バランスの不安定さにマーケットの関心がシフトすると、早期に反発が打診される可能性もある。週間需給統計などで在庫取り崩しが示されると、押し目買いが入り易くなる。

(枚) NY原油先物 大口投機筋ネット建玉



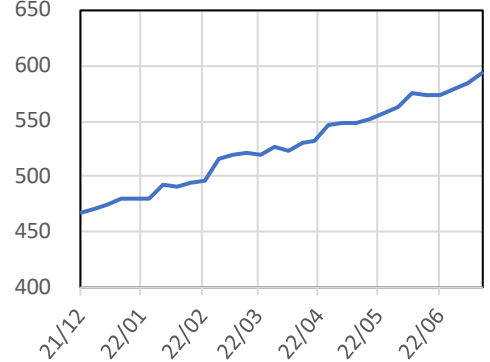
(出所) CFTCよりマーケットエッジ作成

(万バレル) 米原油在庫



(出所) EIAよりマーケットエッジ作成

(基) 米石油リグ稼働数



(出所) Baker Hughesよりマーケットエッジ作成

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクレーム）をお読み下さい。

## 【ディスクレーマー（免責条項）】

本レポートは、本取引所がマーケットエッジ株式会社から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、マーケットエッジ株式会社に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、マーケットエッジ株式会社（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 マーケットエッジ株式会社（Marketedge Co., Ltd.）

【所在地】 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町1-18-1（古川ビル4F）

【URL】 <https://www.marketedge.co.jp/>

【電話】 TEL : 03-6661-9498 【E-mail】 [info@marketedge.co.jp](mailto:info@marketedge.co.jp)

### 小菅努（こすげ・つとむ）プロフィール

1976年千葉県生まれ。筑波大学社会学類卒。商品先物会社の営業本部、ニューヨーク事務所駐在、調査部門責任者を経て、2016年にマーケットエッジ株式会社を設立、代表に就任。金融機関、商社、事業法人、メディア向けのレポート配信、講演、執筆などを行う。

最新情報は  
ツイッターで

